

③7 令和首里城復興イベント(仮称)

土木建築部

実施主体: 令和首里城復興イベント(仮称)実行委員会

実施時期: 令和4年10月30日～11月3日

<50周年記念事業のテーマ>

- 1 事業を通して、新たな振興計画、新時代沖縄の展望を県民と共有し、沖縄の可能性を国内外に発信する。
- 4 令和4年度に着工又は完成(一部完成)し、本県の新たな飛躍を展望する大型プロジェクト等を県民をはじめ県内外に周知し、利用を促進するとともに、本県経済社会の自律的な発展を推進する。



平成木曳式「木遣行列」の様子

事業内容

復帰50周年の節目の年である令和4年度において、首里城正殿の復元工事に着手することから、平成の復元時に行われた大規模イベント「木曳式(こびきしき)」に倣い、沖縄県民をはじめとする首里城復元・復興を願う様々な主体に向け、復元工事の始まりを記念するとともに完成を祈願するイベントを実施する。具体的には、県産木材等を活用する自治体や関係団体と連携して木曳パレード及び木遣(きやり)行列を行う。

復帰50周年記念事業としての意義・効果

県民とともに歩み、アイデンティティの拠り所となった首里城。復帰50周年記念事業として首里城に関連する県政の歩みを振り返り、琉球の歴史・文化の象徴である首里城の魅力を再認識する機会を提供する。あわせて、今後の復興過程や周辺環境整備も含めた首里城の新たな文化を創出する展望について県内外へ発信する。首里城復興祭や世界ウチナーンチュ大会と合同でパレードを行うなど、相乗効果を狙うために同時期にイベントの実施を検討する。

県民へのアピールポイント

琉球文化の復興と新たな文化の創出に参画する機会を提供し、県民のアイデンティティの継承につなげる

事前のPR方法

正殿着工を含めた復元過程や木曳式の歴史について、今年度中にプレイベントを実施する等、広く周知を図ることで首里城復興への気運を向上させる

